

令和4年度【後期】 児童アンケートの結果とまとめ

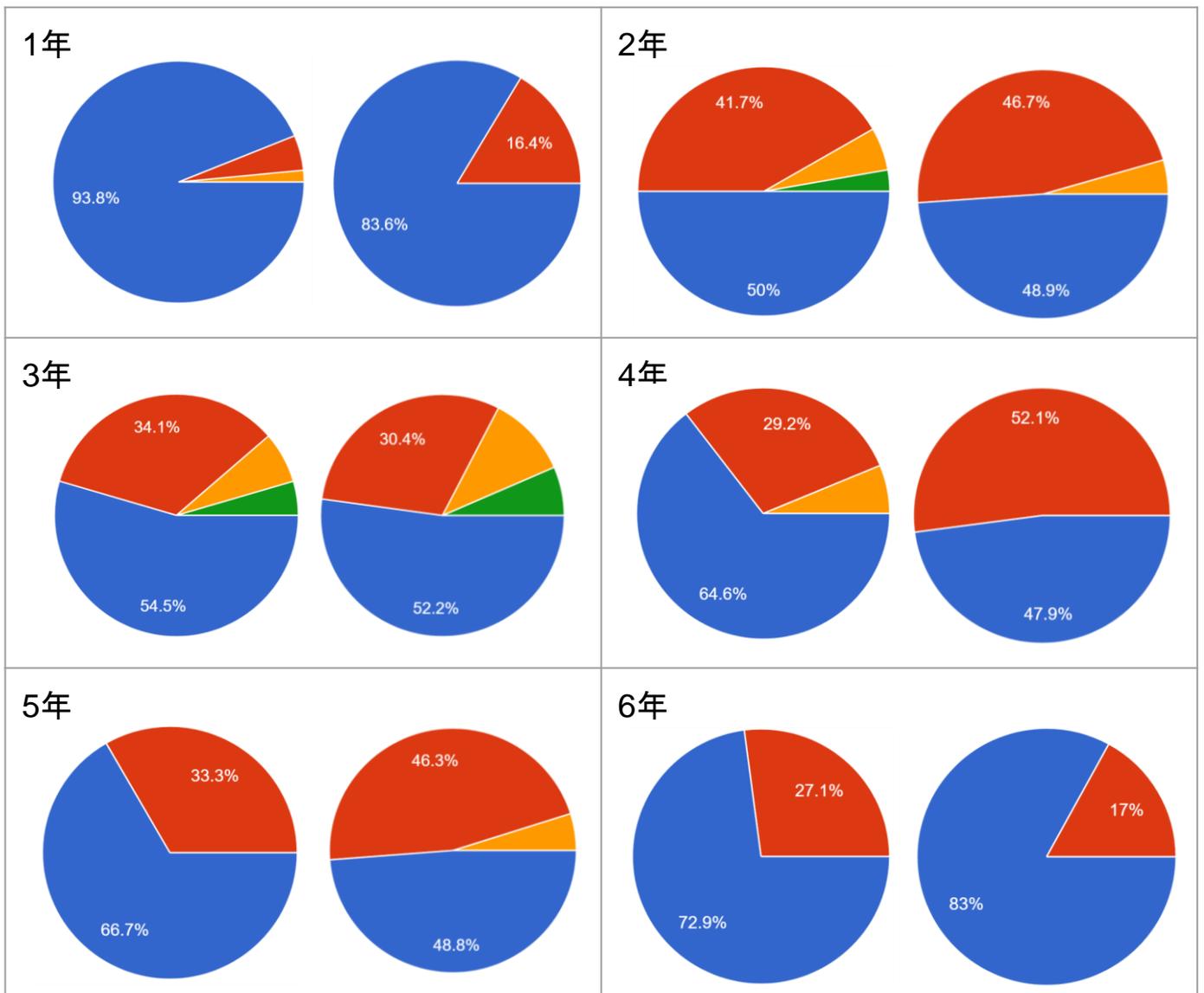
調査実施期間： 令和4年12月9日～20日

各設問ごとの回答

- ・各学年ごとに回答を集計しました。
- ・左側のグラフは今年度前期の結果です。
- ・右側が今年度後期の結果です。

- 1.いつも たのしい
- 2.だいたい たのしい
- 3.あまり たのしくない
- 4.たのしくないことが おおい

1 学校は楽しいですか。

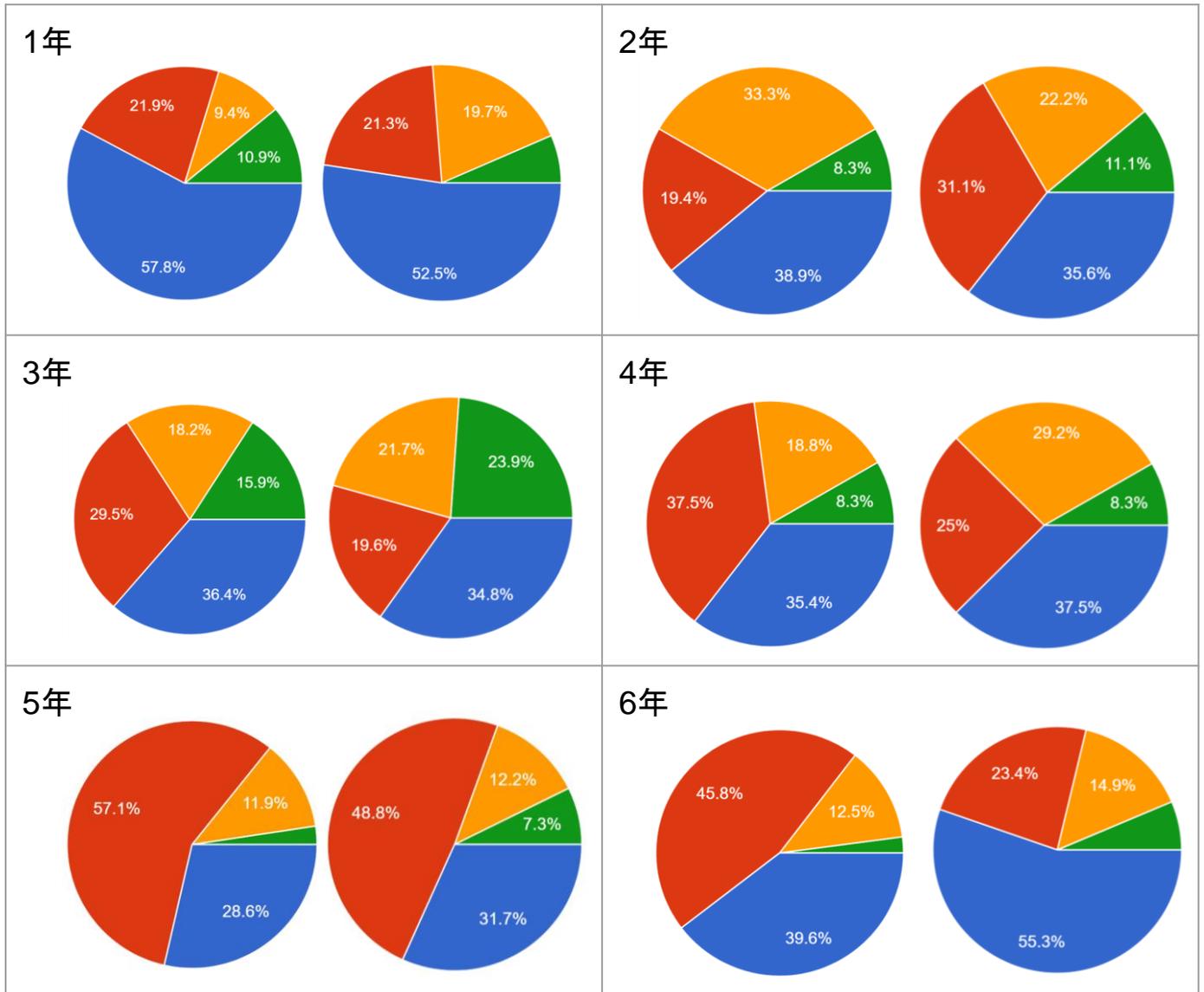


まとめ

- ・前期の結果とほぼ同じ傾向を示していた。「楽しくない」と回答した理由には、「勉強が苦手」とか「友達に嫌なことをされる」といった理由が多かった。
- ・Q U やいじめアンケートと関連させながら、自己肯定感を高める授業づくりや学級集団づくりに取り組むとともに、個別指導の充実やGIGA端末の有効活用等により、個に応じた学習を充実させ、個々が抱える学習面のつまずきを解決できるようにしていきたい。

2 学校へ行きたくないと思ったことがありますか。

- 1.ない
- 2.ほとんどない
- 3.しゅうに1かいくらいある
- 4.よくある

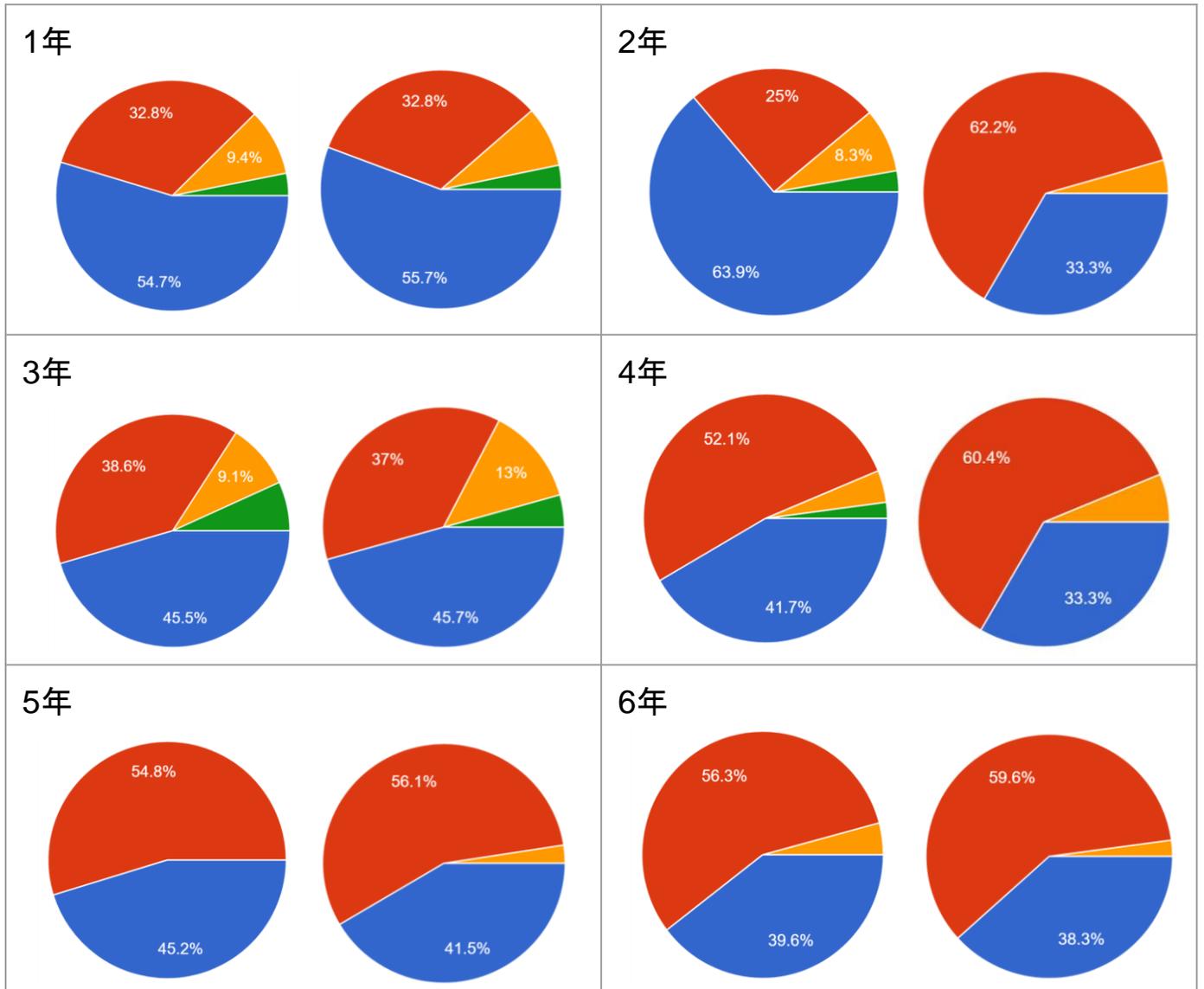


まとめ

- ・どの学年も、前期をほぼ同じ傾向を示している。「行きたくない」といった否定的な回答をした理由として「苦手な授業があるから」や「授業がつまらないから」といった学習に関わる理由が多く挙げられた。低学年を中心に「友達とけんかをしたから」といった理由も多かった。また、「眠いから」とか「家でゲームをしていたいから」という理由も挙げられていた。
- ・設問1と関わって、学級内における人間関係づくりや、楽しくわかる授業の実践など、学校での努力で解決できる問題については、校内研究・教材研究の充実や見せ合い授業の継続による教員の指導力向上や改善に努めていきたい。一方、「眠いから」とか「家でゲームをしていたいから」といった理由も挙げられていることから、家庭での生活習慣の乱れやゲーム・SNS等の依存も理由として考えられる。引き続きゲームやスマートフォンの使い方について、学年だよりや保健だより等で家庭へ協力を呼び掛け、保護者の協力を得られるようにしていくことが求められる。

3 学校の勉強が、分かりますか。

- 1.よくわかる
- 2.だいたいわかる
- 3.あまりわからない
- 4.わからない

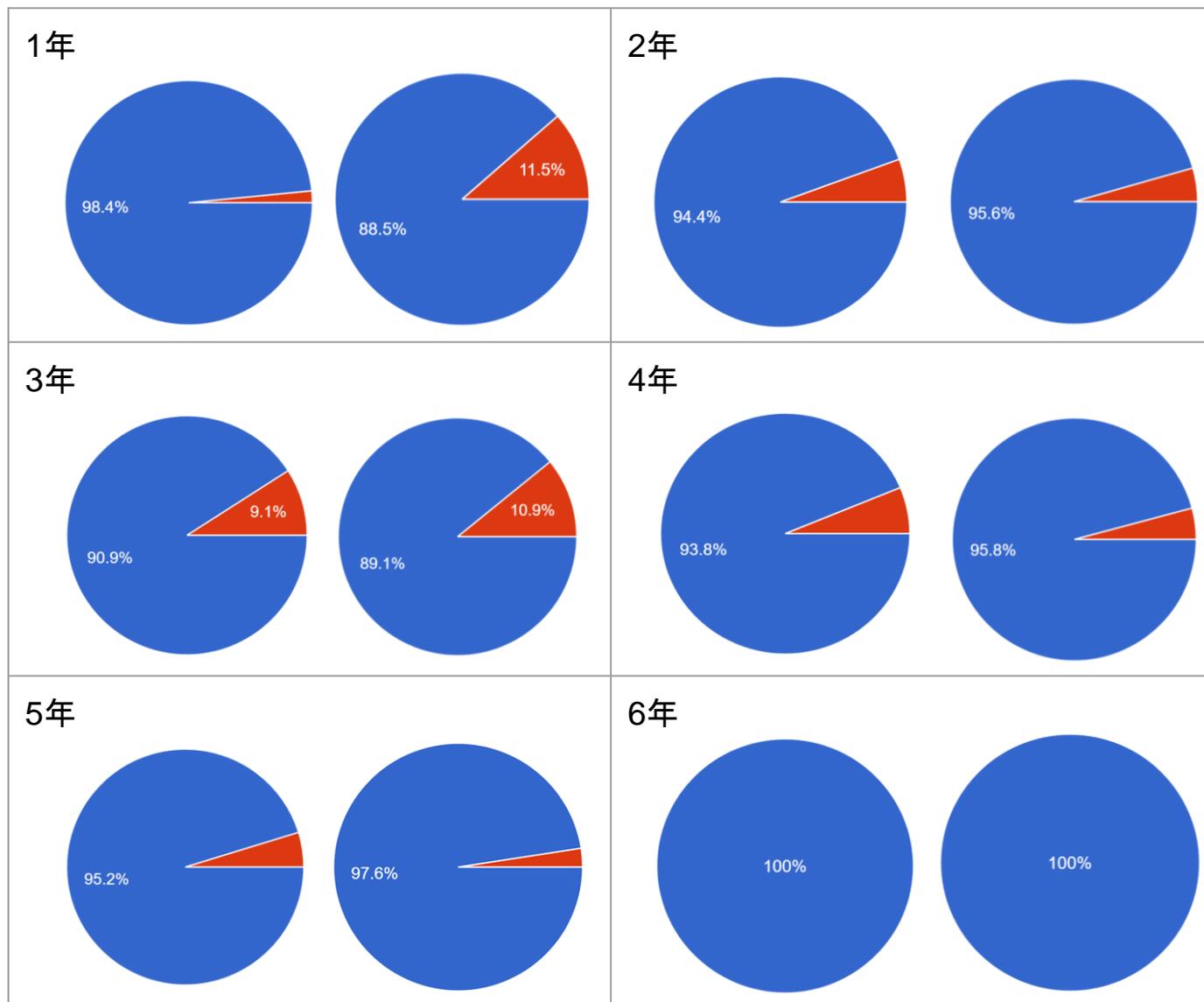


まとめ

- ・学校全体では、前期に引き続き、ほとんどの児童が学校の勉強が「よくわかる」「だいたいわかる」と肯定的な回答をしている。
- ・低学年の学習の基礎の上に、高学年の学習が展開されていくので、低学年からの学力の定着が大切になる。そのためには、「わかる授業」「楽しい授業」「できた実感できる授業」により、主体的に学ぶ意欲が高められるようにしていきたい。校長のリーダーシップのもと、「一人の児童も取りこぼさない授業づくり」を大切にしていく。
- ・一人一台端末の有効活用や「やまなしスタンダード」に則った学習指導を続けていく。
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実と、一人一人の学習状況の定着状況を把握し、学力向上につなげていく。
- ・「見せ合い授業」「学年合同での授業や教材研究」等を積極的に展開し、校内OJTにより教師の授業力向上を図る。

4 困ったときに相談する人がいますか。

- 1.いる
- 2.いない

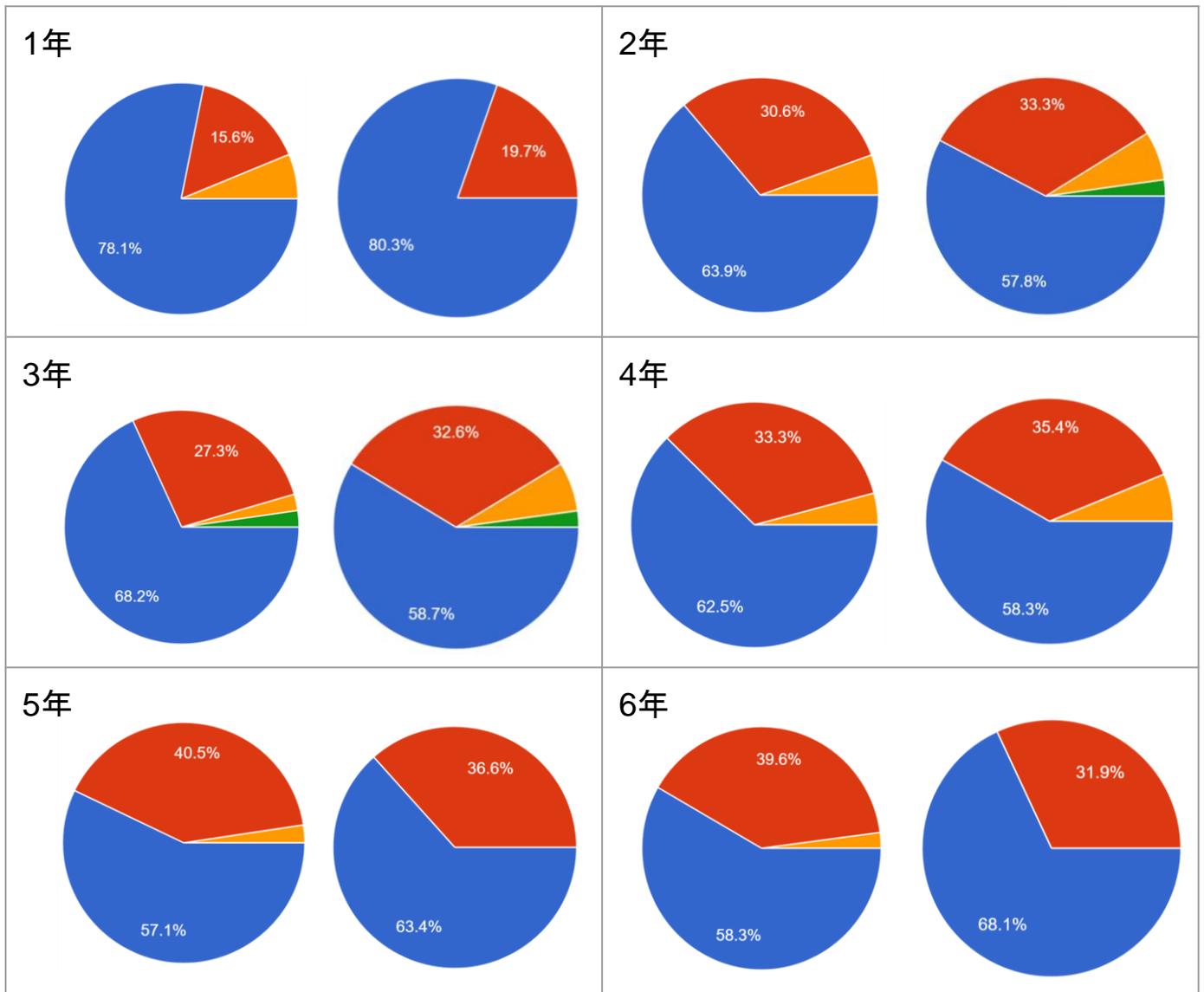


まとめ

- ・各学年とも、多くの児童が困ったときに相談する人が「いる」と回答している。
- ・相談する相手として、全学年とも「父母」に相談する児童の割合がとても高く、高学年になるにつれ「友達」に相談する児童の割合が増えている。学校と家庭が連携し児童に関わる情報共有ができるよう努めていくとともに、教師から児童に積極的に話しかけるなどして、児童から友達の情報を得られるように努めていく。
- ・「いない」と回答した児童に対し、普段の様子を注意深く観察したり校内においては教師や友達が相談相手になれるよう、働きかけたり学級づくりをしたりしていく。また、場合によっては養護教諭やスクールカウンセラー等、全校体制で見守っていくことも必要である。

5 しっかりそうじができましたか。

- 1.よくできた
- 2.できた
- 3.あまりできなかった
- 4.できなかった

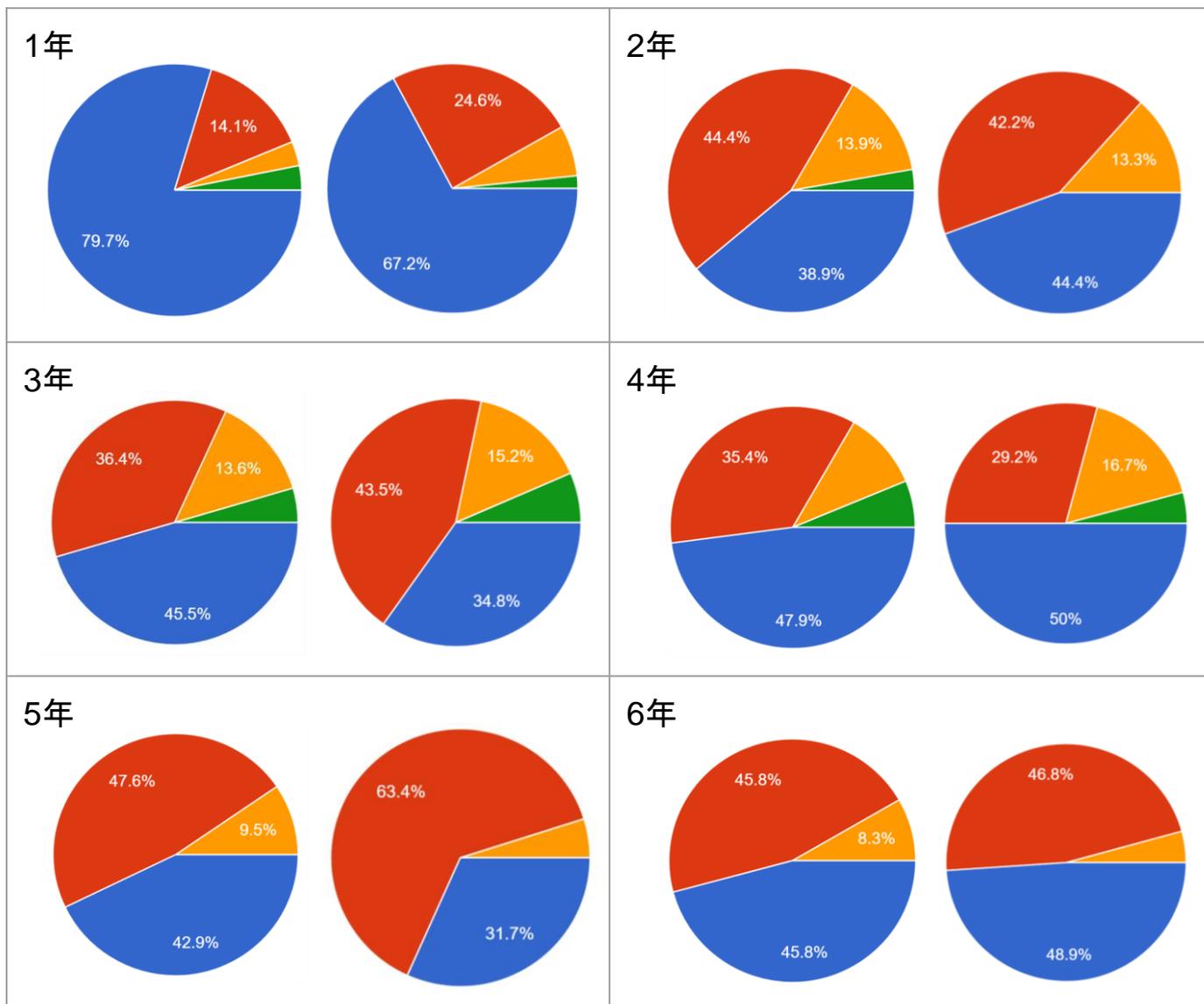


まとめ

- ・前期同様、どの学年もそうじを「よくできた」や「できた」と肯定的に回答している児童の割合が高い。「あまりできなかった」「できなかった」と回答した児童が、低・中学年に10%ほどいる。
- ・時間内はむだ話をすることなく集中して清掃に取り組めるよう、全校体制で指導していく。今後も、子弟同行で行うことで実際にきれいになった成果を共有したり、子どもたちに清掃活動の意味を考えさせたりしていきたい。

6 すすんであいさつができましたか。

- 1.よくできた
- 2.できた
- 3.あまりできなかった
- 4.できなかった

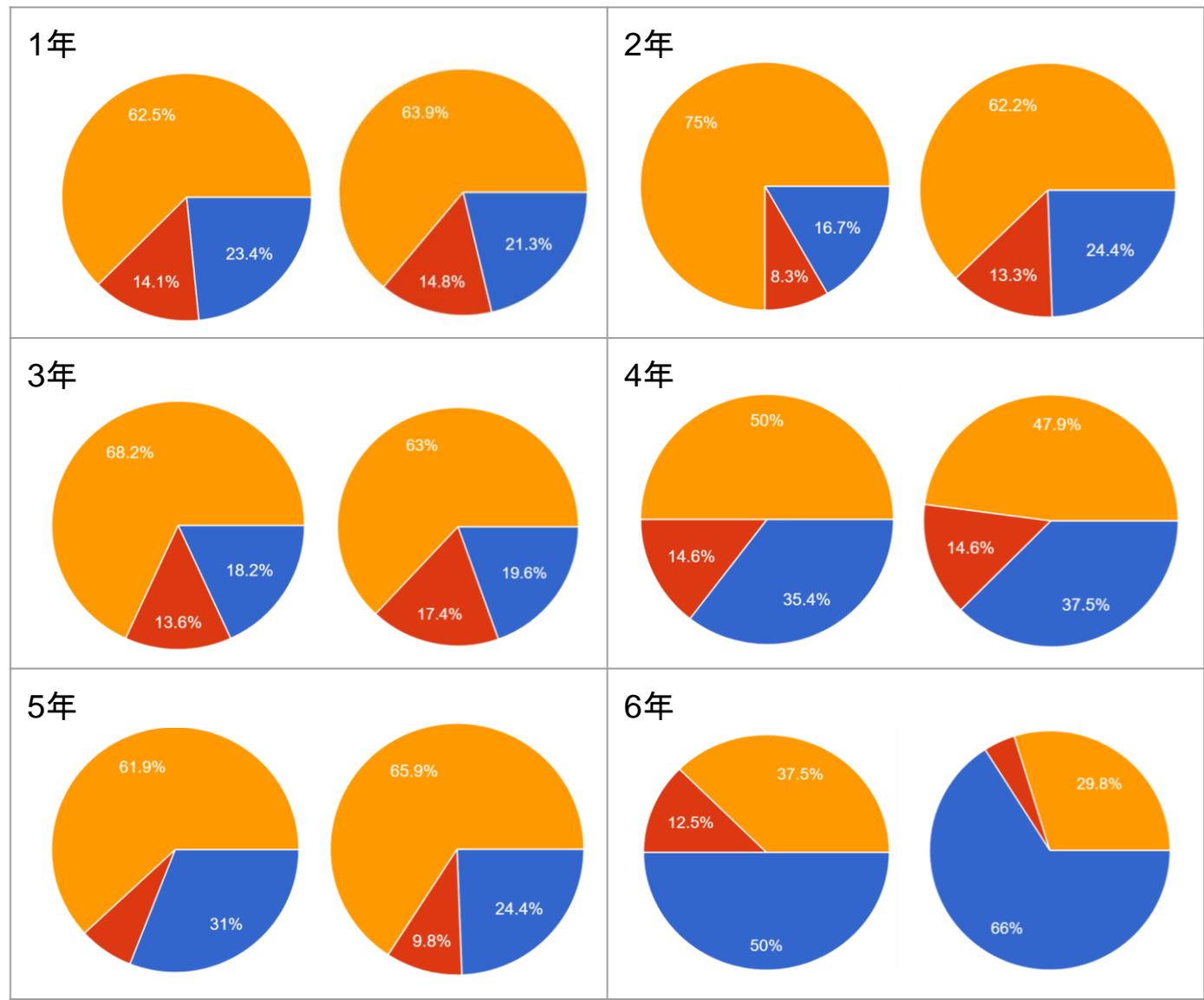


まとめ

- ・前期と同じような傾向であった。子どもたちは、少しずつ意識していて改善傾向がみられる。
- ・あいさつは、日頃からの指導や実践を積み重ねていくことが大切である。学校の玄関先や教室の入り口でおこなう「おはようございます」の挨拶だけでなく、来客や友達同士、登下校中に出会う地域の方々にも自然に挨拶ができるように指導していきたい。教師の意識を高め、子どもたちの手本となってさわやかなあいさつができるよう指導を続けていく。また、児童会や学級ごとに考えた取り組みの実施、さらに、家庭にも協力を呼び掛けるなどしてさらなる向上を目指していく。

7 携帯電話（スマホ）を持っていますか。

- 1.じぶんのもっている
- 2.きょうだいでいっしょのものをもっている
- 3.もっていない

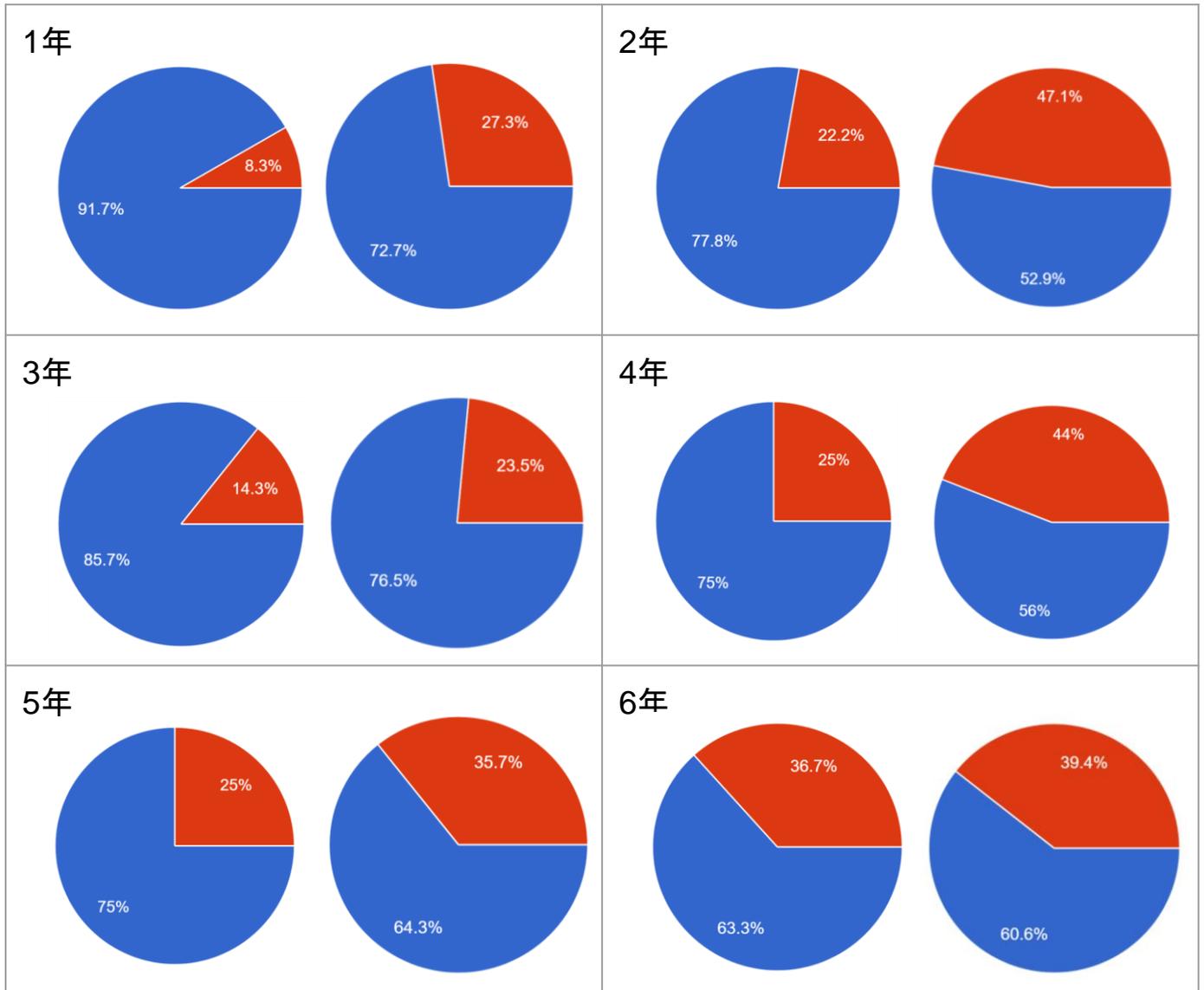


まとめ

- ・携帯・スマホの所持率は、学年を追うごとに増加傾向にある。
- ・課金やLINEなどによるネットトラブルが危惧される。
- ・携帯やスマホは、児童が購入することはできないので、子どもたちに「持たせる必要があるのか」「正しい使い方を理解していて、正しく使うことができるのか」「約束はどうするのか」等、携帯・スマホの購入時における管理面については保護者の指導力を必要とするところが多い。引き続き、学年だよりや学年部会などで呼びかけていく必要がある。

8 持っている人は、親とルールを決めていますか。

- 1.きめている
- 2.きめていない



まとめ

- ・携帯やスマホを所持している児童で、ルールを決めていると回答した児童の割合が減少している。
- ・親子で決めているルールの内容として「使って良い時間や場所、相手を決めている」といったものが多かった。高学年になるにつれ「勝手にアプリをダウンロードしない」といった約束をしている児童の割合が多くなっている。保護者が、ネットトラブルに巻き込まれないように我が子を心配していることが感じられた。
- ・学習用タブレットによる一人一台端末の使用とも関わって、学年に応じた情報モラルを身に付けられるよう指導していくとともに、保護者へも「子どもと、持たせる意味や約束を考えさせたり決めたりする」よう、協力を呼び掛けていきたい。また、外部講師を招いて、高学年を対象に行った「SNSトラブル対策」についての講習会、6年生を対象に行った保健指導をもとに、振り返る機会を意図的に設定しトラブル防止に努めていく。